

【入札参加者の皆様へ】 新設計積算システム導入による変更点について（平成30年6月版）

1. 各種様式について

様式が従来の縦A4版標準から、横A4版標準になりました。

2. 入札時提出内訳書提供シートについて

入札書提出用エクセル提供資料の標準として計算式がなくなりましたので、自社にて集計願います。

3. 設計内訳書にスクラップ評価額が計上されている場合の取扱いについて

設計内訳書において、一般管理費等の直下に「スクラップ評価額」の計上のある場合は、下記の積算体系及び運用となりますので、ご注意ください。

ただし、個別案件につき、公告条件に別の運用の提示がある場合は、それによるものとします。

(1) 「スクラップ評価額」は、従来直接工事費からマイナス計上していたものを、工事原価算定後に計上しております。

入札時に提出する内訳書においては、一般管理費等の直後「スクラップ評価額」の項に、相当額をマイナス計上してください。

(2) 「公共工事に係る最低制限価格の運用について（H29.6適用）」における「工事に伴い最低限必要な費用（P）」の算定については、「スクラップ評価額」は、「P算定式の直接工事費」に含むものとします。

「P算定式の直接工事費」＝「設計内訳表の直接工事費計」＋「スクラップ評価額」

(3) 「四日市港管理組合低入札価格調査実施要領（H30.6適用）」における別表1における「調査基準価格P」の算定については、「スクラップ評価額」は、「P算定式の直接工事費」に含むものとします。

「P算定式の直接工事費」＝「設計内訳表の直接工事費計」＋「スクラップ評価額」

【別紙 設計内訳様式 説明】

設計内訳表

(工事名)

(会社名・代表者名)

施工体系表示を変更しました。

横A4版が標準となりました。

計算式がなくなりましたので、  
社にて集計してください。

(1)~(16)計算例示

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
護岸・岸壁・物揚場				式	1.000		(4)=(3)	
上部工				式	1.000		(3)=(1)+(2)	
上部コンクリート工				式	1.000		(1)	第 0001 号 明細表
上部ブロック工				式	1.000		(2)	第 0002 号 明細表
直接工事費計				式	1.000		(5)=(4)	
間接工事費								
共通仮設費								

設 計 内 訳 表

(工事名)

(会社名・代表者名)

費目	工種	種別	細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
安全費				式	1.000		(6)	第 9001 号 明細表 (積み上げ計上ありの場合)
共通仮設費 (率計上額)				式	1.000		(7)	
共通仮設費計				式	1.000		(8)=(6)+(7)	
純工事費				式	1.000		(9)=(5)+(8)	
現場管理費				式	1.000		(10)	
工事原価				式	1.000		(11)=(9)+(10)	
一般管理費等				式	1.000		(12)	
スクラップ評価額				式	1.000		(13)	第 9002 号 明細表 整数止め

設 計 内 訳 表

(工事名)

(会社名・代表者名)

費目	工種	種別	細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格				式	1.000		(14)=(11)+(12)+(13)	
消費税及び地方消費税相当額				式	1.000		(15)	
本工事費計				式	1.000		(16)=(14)+(15)	

※1

○「スクラップ評価額」は、従来直接工事費下にて計上していたものを、工事原価算定後に計上しております。  
入札時に提出する内訳書においては、一般管理費等の直後「スクラップ評価額」の項に、相当額を計上してください。

記載上の注意事項

四日市港管理組合HP「入札情報-入札契約関係規定『工事費等内訳書の取り扱いについて』5の④」に示す記載すべき項目とは、工事費内訳書(設計内訳表)において、数量計上がある項目とします。  
※計算式がなくなりましたので、ご留意のうえ、上位工種等への積み上げ集計を行ってください。